



## 公開トークセッション開催決定 みんなで語ろう！キッズデザイン ～2025年、キッズデザインのある街で～

特定非営利活動法人 キッズデザイン協議会\*1 は、2019年1月24日(木)にグランフロント大阪北館2階アクティブスタジオにて公開トークセッションを実施いたします。

本イベントでは、CI戦略プロデューサー 福井昌平氏、株式会社ハーズ実験デザイン研究所/METAPHYS 代表取締役 村田智明氏の2名をゲストに招き、キッズデザイン協議会理事3名とともに、「2025年、キッズデザインのある街で」\*2をテーマに、未来の主役である子どもたちと「ともに創る」未来について意見交換いたします。

デザイナー、クリエイター、メディアの方々をはじめ、関心のある企業関係者の皆様のご参加を心よりお待ちしております。未来を担う子どもたちの夢を描ける社会の実現に向けた取り組み内容など、ご取材も歓迎いたします。



\*1 キッズデザイン協議会 東京都港区虎ノ門 会長：山本 正巳（富士通株式会社 取締役会長）

\*2 今年のキッズデザイン賞受賞作品集でもある「キッズデザイン コンセプトブック2018」の巻頭で、「2025年、キッズデザインのある街で」と題し、7年後には子ども子育て環境はこうありたいというビジョン・ストーリーを掲載しました。2025年といえば折しも大阪での万国博覧会開催が決定しました。また、SDGs（持続可能な開発目標）達成の目標年である2030年まで残り5年という重要なタイミングでもあります。2025年という、そう遠くない将来をキッズデザインの視点でどう考えるか、それは言い換えれば、今何をしなければいけないかということに他なりません。

### 概要

内容	講演会、トークセッション、交流会を予定
開催日時	2019年1月24日（木）16：00より17：45（交流会19：00までを予定）
開催場所	グランフロント大阪北館2階 ザ・ラボ内 アクティブスタジオ
ゲスト	<b>福井 昌平氏</b> CI戦略プロデューサー、イベント学会副会長、日本デザインコンサルタント協会副代表、株式会社コミュニケーション・デザイン研究所代表取締役社長
	<b>村田 智明氏</b> 株式会社ハーズ実験デザイン研究所/METAPHYS 代表取締役、京都造形芸術大学 客員教授、神戸芸術工科大学 客員教授、九州大学 非常勤講師
参加費	無料
定員	先着順 30名
主催	特定非営利活動法人キッズデザイン協議会 西日本世話人会
参加申込方法	下記お申し込み先に氏名・ご所属・連絡先とともにメールでお送りください。

お申し込み・お問合せ

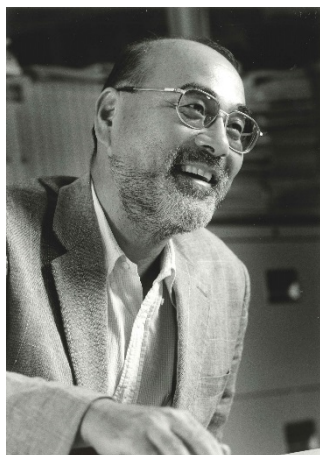
mail : [sanka@kidsdesign.jp](mailto:sanka@kidsdesign.jp)

(キッズデザイン協議会事務局 松村宛) tel : 03-5405-2141

■ 予告 ■ 3月1日（金）17：30～19：20 キッズデザインミーティング in KANSAI 開催決定！！  
場所：グランフロント大阪 北館7階 大阪イノベーションハブ 共催：大阪イノベーションハブ

## トークセッション参加者 プロフィール

## 【ゲスト】

**福井 昌平 (ふくい しょうへい)**

CI戦略プロデューサー  
 イベント学会副会長  
 日本デザインコンサルタント協会副代表  
 株式会社コミュニケーション・デザイン研究所代表取締役社長

国鉄分割民営化における「JR」コミュニケーション戦略の構築、全日空の国際化に伴う機体デザイン開発と「ANA」コミュニケーション戦略の構築等、企業と社会集団のCI戦略プロデューサーを務める。

愛知万博2005のチーフプロデューサーや平城遷都1300年記念事業のチーフプロデューサーを歴任し、麗水国際博覧会日本館総合アドバイザーとミラノ万博日本館総合プロデューサーを務める。

**村田 智明 (むらた ちあき)**

株式会社ハーズ実験デザイン研究所 / METAPHYS 代表取締役  
 京都造形芸術大学 客員教授、神戸芸術工科大学 客員教授、九州大学 非常勤講師  
 日本デザインコンサルタント協会理事、NPO法人エコデザインネットワーク理事

1986年にハーズ実験デザイン研究所を設立、プロダクトを中心に広範囲なデザイン活動を行い、Gマーク金賞など、国内外で160点以上を受賞。またオムロンの血圧計「スポットアーム」やマイクロソフト「Xbox 360」などを手がけ、世界記録的な販売数量を達成する。自ら立ち上げた企業コンソーシアムブランドMETAPHYSは、企業のコアコンピタンスを生かし、自著「行為のデザイン思考法」に基づいてデザインから販売までを手がけている。他の著書に「ソーシャルデザインの教科書」、「感性ポテンシャル思考法」がある。

## 【キッズデザイン協議会理事】



コーディネーター

**高橋 義則**

株式会社ユニバーサルデザイン総合研究所  
 代表取締役社長

子ども目線に基づくデザインアプローチにより、標準化を始め協議会活動を実践。

**濱田 真輔**

富士通株式会社 総務・リスクマネジメント本部  
 シニアエキスパート

事実起点で本質的な課題を洗い出し、その解決の場を設けることを推進中。

**河崎 由美子**

積水ハウス株式会社 住生活研究所 所長

子どもの生きる力を育む住まい提案などの暮らし研究が専門。  
 一級建築士

当日は、同会場にて2018年度キッズデザイン賞  
 受賞作品の展示も行います。

## 「キッズデザイン」とは？

キッズデザインとは、次世代を担う子どもたちの健やかな成長発達につながる社会環境の創出のために、デザインの本質を役立てようとする考え方であり、活動です。「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン」「子どもたちを産み育てやすいデザイン」。この3つのデザインミッションのもと、成り立っています。

「デザイン」というと、モノの色や形といった、外見的なものを思う浮かべがちですが、キッズデザインには、使いやすさ、安全性なども含まれています。対象となるものも、子ども用の製品やサービスだけではなく、大人向けのものも含まれています。子どもたちを取りまく環境の中にある全てのものが、子ども目線で考えられて、子ども基準で作られている、そんなキッズデザインに満ちあふれた社会の実現を目指して、さまざまな人々と協力し合っています。このような考えで選考される「キッズデザイン賞」は次回で13回目を迎えます。第12回キッズデザイン賞では、優れた作品に「内閣総理大臣賞」をはじめ、「経済産業大臣賞」「少子化対策担当大臣賞」「男女共同参画担当大臣賞」「キッズデザイン協議会会長賞」などが贈られました。<キッズデザイン協議会HP <http://www.kidsdesign.jp/>>